

食料・農業・農村政策審議会企画部会ヒアリング (2019年3月28日)

有限会社福永畜産の取組みについて

有限会社福永畜産 内村祐太



さつま福永牛

さつま町の肉用牛概要

鹿児島県の北西部
中山間水田地域



表 さつま町の肉用牛農家戸数及び市場上場頭数

	H21	H24	H27	H28
農家戸数	604	492	401	372
上場頭数	2,992	2,988	2,247	2,199

担い手の減少とともに市場上場頭数も減

日本農業新聞

2019年(平成31年)3月23日(土曜日)

九州

(14)

鹿児島・薩摩中央家畜市場 92万2874円の高値取引

子牛平均価格
最高値を更新

【鹿児島・北さつま】JA北さつまの薩摩中央家畜市場で3月中旬の2日間、子牛せりがあった。1頭当たり平均価格は92万2874円で、同市場の平均最高値を更新した。前回(2月)より3万6227円高かった。

牛の購買者が訪れた。



- ・種雄牛造成とその産子の繁殖雌牛
- ・改良度は全国トップクラス
- ・全国第3位の市場取引価格

組織概要

1 有限会社福永畜産

全共日本一を獲得した鹿児島黒牛の生産

2 株式会社牛道

自家産熟成肉及び牛肉を提供
焼き肉店を
鹿児島市に4店舗
東京三軒茶屋に1店舗展開

Gyu do!

安心・安全を掲げる「さつま福永牛」

少数飼育のゆったりとした環境の中、
良質な牧草で育ったさつま福永牛は、
肉質のきめが細かく、脂肪の融点も低いため、
とろけるような口当たりと
黒毛和牛本来の旨味をお楽しみ頂けます。



Gyu do!ではこだわりのブランド牛に「熟成」というスパイスをかけることで、他では味わうことが出来ない最高においしいお肉をお召し上がり頂いております。
徹底した温度・湿度管理、専門家の完全監視のもとで、約50日間お肉を寝かせることで、余計な水分を抜き、ナッツのような甘く香ばしい匂いを伴いながら柔らかく、肉本来の旨味もより濃厚になります。

鹿児島黒牛の普及と消費拡大



組織概要

3 株式会社さつま福永牧場

有限会社共同食肉と
食肉加工販売事業を展開

- ・ 熟成肉の加工販売
- ・ さつま福永牛のブランド化



福永畜産の変遷

- 昭和25年 経営開始(繁殖雌牛10頭, 肥育牛40頭)
- 平成12年 有限会社福永畜産設立
- 平成19年 「北さつま牛和牛倶楽部」組織
→東京食肉市場へ出荷
- 平成24年 株式会社牛道設立
- 平成26年 株式会社さつま福永牧場設立
→6次産業化事業
- 平成29年 完全一貫経営に向け繁殖雌牛150頭増頭

福永畜産の経営概況

- 1 代表者 福永 充 取締役
- 2 経営類型 肉用牛一部一貫
飼養頭数 繁殖雌牛 240頭, 肥育牛 950頭
- 3 飼料畑 8 ha
- 4 従業員 9名 (うち農場勤務7名)
- 5 受賞歴
全国肉用牛枝肉共励会名誉賞・最優秀賞
横浜ミートフェアグラウンドチャンピオン
全国肉牛事業枝肉共励会グラウンドチャンピオン

自己紹介（内村祐太）

実家は非農家，入社後に肉用牛の知識及び技術を習得

平成20年 普通高校卒業

平成24年 大学（経済学部）卒業後，入社

平成27年 家畜人工授精師免許取得
→肉用牛に関する知識及び技術習得

平成28年 生産部長に就任

平成29年 家畜体内受精卵移植講習会の修業試験合格
→家畜人工授精の技術向上

福永畜産の経営の特徴

- ・ 自家産は9ヶ月齢から肥育開始，期間は20ヶ月
- ・ 年間600頭を出荷，東京は「北さつま牛」
鹿児島は「さつま福永牛」のブランド名称で出荷
- ・ 現在の肥育牛自家産率は3割，今後は比率が上昇
→**肥育素牛を低コストで調達**
- ・ 肥育牛には穀類を煮た「炊き餌」を給与
→脂肪融点が低下，甘味のある脂質
肉のてり，うま味が増す

食味が好評！販路が拡大し，ファン増加！



福永畜産の経営の特徴

- ・ I C T 機器を積極的に導入
→ファームノートカラー, 牛温恵
繁殖部門の生産性の向上及び省力化を図る
- ・ 枝肉成績をもとに繁殖素牛を選定(一貫のつよみ!)
- ・ 生産工程管理及び飼養衛生管理の向上を目的に
G A P 取得チャレンジシステム及び農場H A C C P
の認証取得に向け取組中
- ・ 農場勤務者の平均年齢は29.6歳
4名が鹿児島県立農業大学校
畜産学部卒業生



WCS用稲収穫専用機利用

経営の特徴（ファームノートカラー）

[発情・疾病兆候検知ウェアラブルデバイス]

- ・ センサー内蔵の首輪から個体毎の活動量等のデータ取得
- ・ クラウドに集積されたデータはAIにより分析
- ・ AIが発情・疾病と判断すると利用者端末へアラート通知
- ・ 平成28年に導入



効果/その1

発情発見率が
約2倍～3倍に
向上！

効果/その3

卵胞
嚢腫
などの
疾病
徴候
に
気が
つ
け
た

効果/その2

精度の高い
スムーズな
人工授精が
可能に



内村太さま
有限会社 権永畜産
生産部長

「farmnote」ホームページより

経営の特徴（ファームノートカラー）

表 導入前後の繁殖成績

	導入前	導入後
発情発見率 (%)	20.0	57.5
妊娠率 (%)	41.3	84.2
初回授精日数	110	54

**繁殖成績が向上
生産子牛が71頭増加**

投資効果額 5,680万円

初期投資額 572万円

※市場導入価格を1頭当たり80万円と設定して80万円/頭×71頭

- ・ ICT機器が担える作業と人間のみができる作業を経営内で整理・明確化
- ・ 生産子牛が増えたことで繁殖素牛の選択幅が広がり改良に貢献

経営課題とその取組み（繁殖部門）

[課題]

- ・ 増頭による密飼い→哺乳子牛の事故
- ・ 自給粗飼料の確保及び品質向上

[取組み]

- ・ 施設整備による密飼いの解消
- ・ 観察徹底による要治療牛の早期発見と治療
- ・ 子牛及び母牛への予防接種
- ・ ほ場の土壌診断による土壌改良
- ・ 稲WCSの利用拡大

→ さつま町は水田地帯，水田活用交付金の事業継続を

経営課題と取組み（肥育部門）

[課題]

- ・ 枝肉重量の向上（500kg以上）
- ・ 肥育期間の短縮（20ヶ月→18ヶ月）
- ・ 農場管理の改善

[取組み]

- ・ 血統構成を重視した肥育素牛の選定
- ・ 肥育前期の給与体型の見直し
- ・ 記録付けの簡略化→電子ファイル化

経営の課題と取組み（その他）

[課題]

- ・ 投資資金の調達（借受けまでの期間・手続き）
- ・ 牛ふんたい肥の滞留

[取組み]

- ・ 肉用牛の経営特性をふまえた融資
- ・ 良質たい肥生産と地元での販路拡大



これからの経営展開

完全一貫経営に向けて繁殖雌牛 260頭増頭

繁殖部門の技術レベル維持

- ・ 繁殖サイクルをくずさない
- ・ 子牛の事故率を低減 → 子牛疾病兆候を検知する
I C T 機器に期待

2019年G A P 取得チャレンジシステムの認証

認証により消費者及びバイヤーの信頼が高まる

→牛肉の高付加価値化及び販路拡大を期待

地域の肉用牛の課題

新規就農者及び規模拡大志向者への支援

- ・ 施設整備予定地の確保
→ 混住化，所有者不明土地，農地転用等の課題
- ・ 繁殖雌牛の更新
- ・ ICT機器の低コスト化



さつま福永牛



ご清聴に感謝申し上げます

今後の鹿児島黒牛に期待してください

